

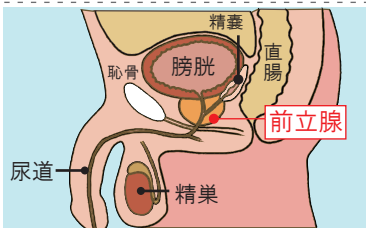
泌尿器科
部長
黒川 覚史



■ 前立腺とは

前立腺(prostate)の語源はギリシャ語の prohistani「前に立つ」であり、膀胱の前にある臓器を意味しています。

実際のところ前立腺は膀胱の下にあり、成人男性では直径約3cmでクルミくらいの大きさになっています。前立腺の中を尿道が貫いていますが、後ろからは射精管が合流し、排尿と射精に関わっています。また、前立腺という名前からもわかるように分泌腺としての働きもあり、精液の一部となる前立腺液を作り、精子の運動や保護にも関わっています。



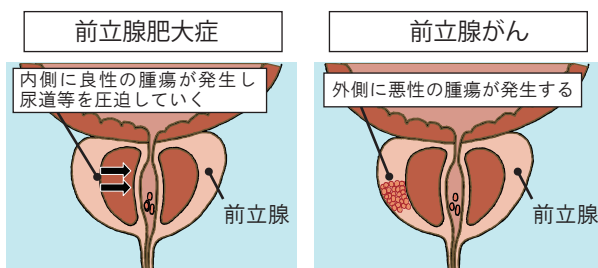
■ 前立腺肥大症と前立腺がん

共通点として、高齢になるにつれてかかりやすいことと男性ホルモンの影響を受けていることの2つがあります。しかし、前立腺肥大症が前立腺がんに変化することはないとされています。

前立腺肥大症は前立腺の中心に近い(尿道に近い)部分から発生するため、前立腺内を貫いている尿道を圧迫するようになります。そのため、遷延性排尿(排尿開始まで時間がかかること)・尿勢低下・頻尿・残尿感といった症状がみられます。

前立腺がんは前立腺の外側に近い部分から発生することが多く、がんが進行して中心部の尿道に達しない限り症状がみられないことも多くあります。また、前立腺肥大症と前立腺がんが併存する場合があります。

症状では、前立腺肥大症と前立腺がんを区別することは困難とされています。



■ 前立腺がんの治療

前立腺がんの進行度や患者さんの状態に応じて、がんの根治を目指す治療とがんの根治を目指さず進行を抑える治療のどちらかを選択します。がんの根治を目指す治療は、手術療法と放射線療法であり、進行を抑える治療はホルモン療法のことです。

当院では、がんの根治を目指した治療の代表である手術療法、なかでも手術支援ロボット「ダヴィンチ」を用いた最新の治療法に力を入れています。

■ 『ダヴィンチ』を用いたロボット支援前立腺がん手術

当院のダヴィンチ手術の歴史は深く、全国的にも早い時期から開始しております。ダヴィンチ手術は最新手術ですが、『ダヴィンチ』であっても手術が困難な患者さんもいます。

当院では早期前立腺がんの患者さんであれば、どんな患者さんでもダヴィンチ手術を受けられて、手術の負担も最小限にできるような様々な工夫を行っております。

